

【別表A(5) - 1(公益充実資金の明細)】

下表の水色欄()を記載ください。黄色欄()は自動計算されます。

1. 公益充実資金の前年度末明細

公益充実資金の前年度末値を確認します。

前年度末				
各資金の明細		実施時期(年度) 西暦	所要額	残高
奨学金事業積立資金	費用	2024	160,000,000 円	50,999,099 円
			円	円
			円	円
			円	円
			円	円

2. 公益充実資金の本年度末明細

公益充実資金の本年度末値を確認します。

当該事業年度開始日(西暦)	2025/4/1
---------------	----------

本年度末					
前期末残高	取崩額(合計値)	取崩額のうち資産取得分以外	積立額	今期末残高	積立限度額
50,999,099 円	15,025,930 円	15,025,930 円	0 円	35,973,169 円	160,000,000 円
各資金の明細	実施時期(年度) 西暦	所要額	取崩額(個別)	備考	
奨学金事業積立資金	費用	2025	160,000,000 円	15,025,930 円	
			円	円	
			円	円	
			円	円	
			円	円	

3. 公益充実資金の積立内訳、積立基準額の算定値(中期的収支均衡の50%超繰入れ時用)

中期的収支均衡の観点で、50%を超えて繰入れをする際に使用する公益充実資金の各種算定値を確認します。

各資金の明細	期首積立内訳(算定値)	残り必要額(算定値)	支出までの残存期間	活動毎積立基準額(算定値)	積立基準額(算定値)	
奨学金事業積立資金	費用	50,999,099 円	109,000,901 円	71 月	18,422,687 円	18,422,687 円
		円	円	月	円	
		円	円	月	円	
		円	円	月	円	
		円	円	月	円	

4. 公益充実資金と公益目的事業費率、使途不特定財産上限との関連値

公益目的事業費率及び使途不特定財産上限との関係で、公益充実資金における必要な値を確認します。

各資金の明細	積立内訳(算定値、公益実施費用額に算入)	取崩内訳(公益実施費用額から控除)
奨学金事業積立資金	費用	0 円
		円
		円
		円
		円
合計	0 円	15,025,930 円

【別表A(5) - 2(公益充実資金の明細)】

費用	
特定の事業又は資産取得等の名称	奨学金事業積立資金
当該活動の内容	軽金属学術界の人材育成のため、軽金属に関する教育機関に在学する有為の学生に対し、研究に専念する時間を与え、創造性に富んだ研究者を育成することを目的とする。
計画期間(目的設定～実施)	西暦 2017 年 1 月 ~ 2031 年 3 月 月数 (170 月)
所要額の算定方法	将来の軽金属学術界を盛り立て、背負って立つ人材の育成のための事業として、若手の有為の学生に対し奨学金給付を実施するものである。所要額の算定上、毎年一人/年採用し、仮にある年度で募集を中止したとしても採用者をすべて卒業させるためには、約3,000万円必要で、5名程度の採用を前提にすると、3,000万円×5人+ (通信費、交通費等)が必要であるため、所要額を16,000万円とする。

0	
特定の事業又は資産取得等の名称	
当該活動の内容	
計画期間(目的設定～実施)	西暦 年 月 ~ 年 月 月数 (0 月)
所要額の算定方法	

0	
特定の事業又は資産取得等の名称	
当該活動の内容	
計画期間(目的設定～実施)	西暦 年 月 ~ 年 月 月数 (0 月)
所要額の算定方法	

0	
特定の事業又は資産取得等の名称	
当該活動の内容	
計画期間(目的設定～実施)	西暦 年 月 ~ 年 月 月数 (0 月)
所要額の算定方法	

0	
特定の事業又は資産取得等の名称	
当該活動の内容	
計画期間(目的設定～実施)	西暦 年 月 ~ 年 月 月数 (0 月)
所要額の算定方法	